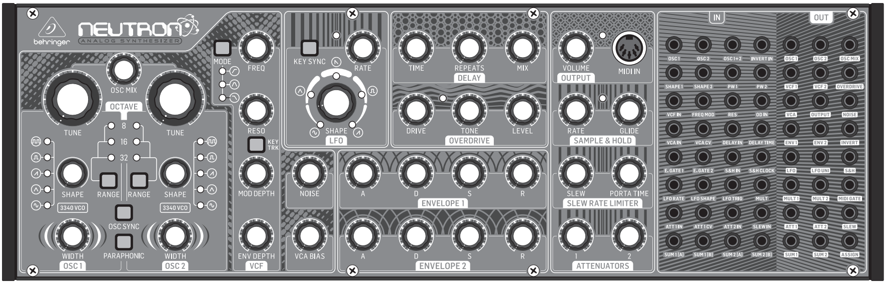
クイックスタートガイド

JP



NEUTRON

Paraphonic Analog and Semi-Modular Synthesizer with Dual 3340 VCOs, Multi-Mode VCF, 2 ADSRs, BBD Delay and Overdrive Circuit in a Eurorack Format

behringer

JP

JP 安全にお使いいただくために

注意

感電の.恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (¼" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用の前に良くお読みください。

注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。

2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。

4. 指示に従ってください。

5. 本機を水の近くで使用しないでください。

6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。

7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。

8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. ニ極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。ニ極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広くなっています。アースタイプの三芯プラグにはニ本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。

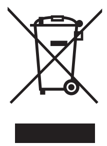
12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、 電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

JP

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または-登録商標です。

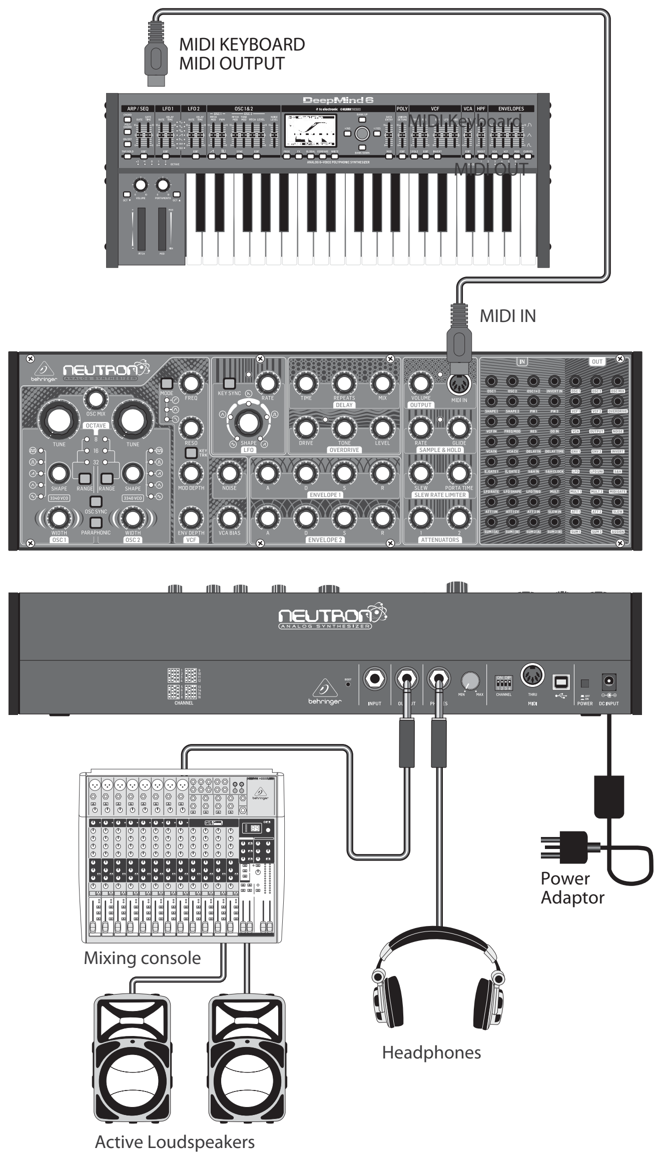
限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

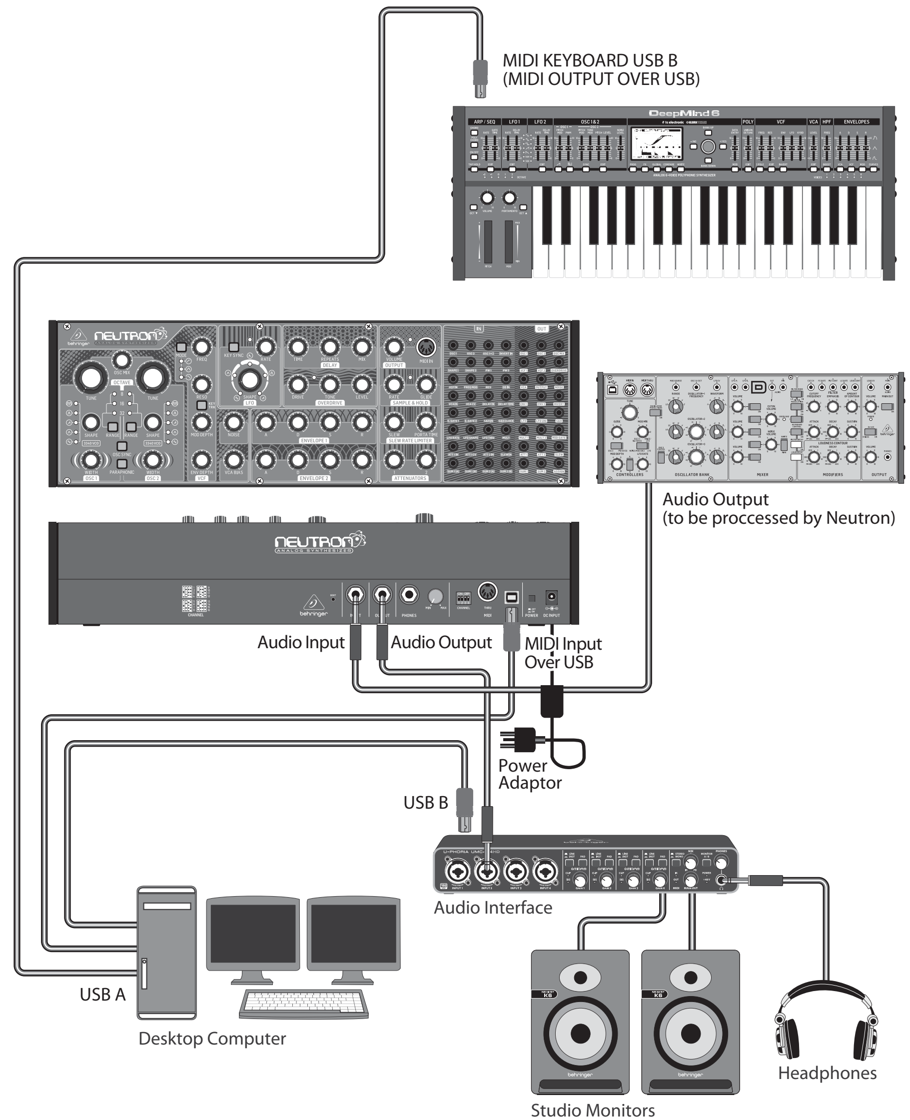
NEUTRON フックアップ

ステップ 1: フックアップ

Live Set-up

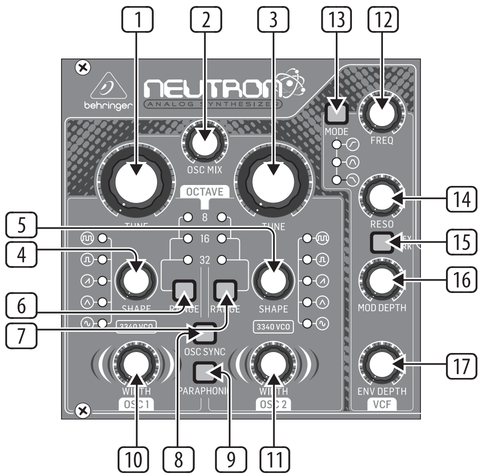


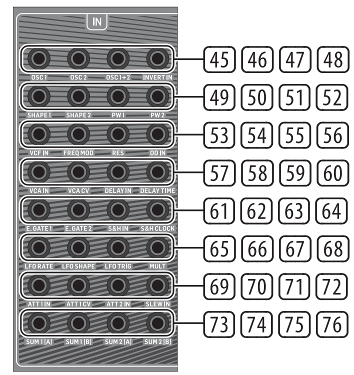
Studio System

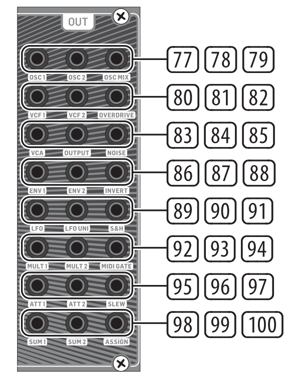


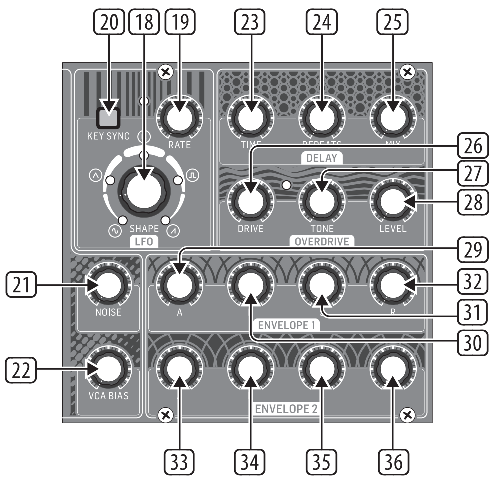
NEUTRON コントロール

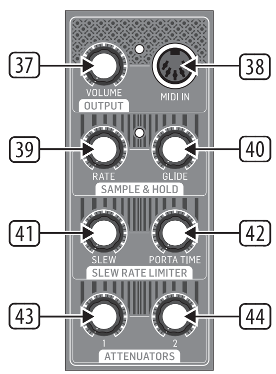
ステップ 2: コントロール

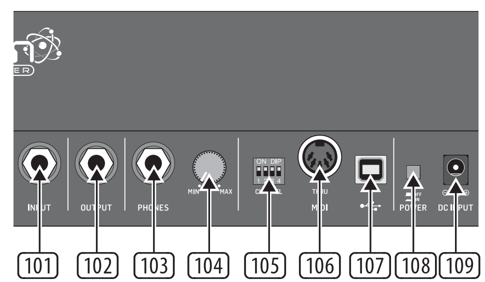












JP

NEUTRON コントロール

ステップ 2: コントロール

1 – 3 **OSC TUNE (OSC チューン)** - オシレーターの周波数を調節します。

2 **OSC MIX** (OSC ミックス) オシレーター 1 および 2 のブレンド比率を調節します。

4 – 5 **OSC SHAPE (OSC シェイプ)** - オシレーターのシェイプを調節します。特定の波形間の切り替え、または隣接する波形とのコンティニュアスブレンドの調節をおこないます。

6 – 7 **OSC RANGE (OSC レンジ)** - オシレーターのパイプ長を、32/16/8 の間で調節します。3 つの LED がすべて点灯している時には、+/-10 オクターブモードが有効になります。

8 **OSC SYNC (OSC シンク)** - OSC 2 を OSC 1 ピリオドにリンクします。

9 **PARAPHONIC (パラフォニック)** - 複数の MIDI ノートが演奏された時に、2 つのオシレーターがそれぞれ別のピッチをプレイします。ノートが1つだけの時には、両オシレーターは同じピッチとなります。

10 – 11 **PULSE WIDTH (PW) (パルス幅)** - オシレーターのスクエア波/トーンモジュレーター波形の、パルス幅を設定します。

VCF 部

12 **12 FREQ (周波数)** - VCF のカットオフ周波数を調節します。

13 **MODE (モード)** - フィルタータイプを選択します。ハイパスフィルター ( )、ブレンドパスフィルター ( ) およびローパスフィルター( )です。

14 **RESO** (レゾナンス) - フィルターのレゾナンスを調節します。

15 **KEY TRK** (キートラック) -VCF へのキーボードトラッキングを適用します。

16 **MOD DEPTH** (モジュレーションデプス) - FREQ MOD 入力からの、フィルター変調の深さを設定します。

17 **ENV DEPTH (エンベロープデプス)** – ENVELOPE 2 からのフィルター変調の深さを設定します。

LFO 部

18 **SHAPE** (シェイプ) - LFO のシェイプを調節します。

19 **RATE** (レート) - LFO の周波数を調節します。

20 **KEY SYNC** (キーシンク) -MIDI ノートを受信すると、LFO をリトリガーします。

NOISE (ノイズ) および VCA BIAS (VCA バイアス)

21 **NOISE** (ノイズレベル) - フィルターに付加するホワイトノイズの量を調節します。

22 **VCA BIAS (VCA バイアス) -** VCA を開閉します。

DELAY (ディレイ) 部

23 **TIME (タイム)** - ディレイのレートを制御します。

24 **REPEATS (リピート回数)** - リピート回数を制御します。

25 **MIX** (ミックス) - ディレイの エフェクト音/ドライ信号のミックス割合を調節します。

OVERDRIVE (オーバードライブ) 部

26 **DRIVE** (ドライブ) - オーバードライブの量を設定します。

27 **TONE** (トーン) - オーバードライブサウンドの音色を変更します。

28 **LEVEL** (音量) - オーバードライブの出力音量を制御します。完全にオフにすると、オーディオは出力されません。

ENVELOPE (エンベロープ) 部

ENVELOPE 1 (エンベロープ 1) エンベロープ1 は、デフォルトでは VCA CV にルーティングされています。

29 **A [ATTACK]** (アタック) - エンベロープのアタックタイムを制御します。

30 **D [DECAY] (ディケイ)** - エンベロープのディケイタイムを制御します。

31 **S [SUSTAIN]** (**サステイン**) - エンベロープのサステインレベルを制御します。

32 **R [RELEASE] (リリース)** - エンベロープのリリースタイムを制御します。

ENVELOPE 2 (エンベロープ) エンベロープ 2 は「ENV DEPTH (エンベロープデプス)」を経由して VCF フィルターカットオフにルーティングされています。詳しくは17ページをご覧ください。

OUTPUT (出力) 部

37 **VOLUME (音量)** - メイン出力のレベルを制御します。

38 **MIDI IN (MIDI 入力)** - 選択した MIDI チャンネルからMIDI データを受信します。

SAMPLE & HOLD (サンプルアンドホールド) クロックに基づき、ランダムなパターンを生成します。

39 **RATE (レート)** -「SAMPLE AND HOLD (サンプルアンドホールド)」のクロックのレートを制御します。

40 **GLIDE (グライド)** – サンプル値の変化のレートを設定します。SLEW RATE LIMITER (スルーレートリミッター)

41 **SLEW (スルー)** – 入力信号の変化のレートを制限します。

42 **PORTA TIME (ポルタメントタイム)** – MIDI ノートから別の MIDI ノートへの、変化のレートを制限します。

ATTENUATOR SECTION (アッテネーター部)

43 **ATTENUATOR 1** - 入力信号の大きさを低減します。Att1 はコントロールボルテージで制御できます。詳しくは 58 ページをご覧ください。

44 **ATTENUATOR 2 –** 信号の大きさを低減します。

入力パッチベイ部

45 **OSC 1** - OSC 1 ピッチ CV (コントロールボルテージ)。

46 **OSC 2** – OSC 2 ピッチ。

47 **OSC1+2** – OSC 1 および 2 のピッチ CV。

48 **INVERT IN** – 入力信号は「INVERT OUT (インバート出力) 」で反転します。88 ページ参照。

49 **SHAPE 1** – OSC 1 シェイプ CV。

50 **SHAPE 2** – OSC 2 シェイプ CV。

51 **PW1** – OSC 1 PW CV。

52 **PW2** – OSC 2 PW CV。

53 **VCF** – VCF 信号入力。

54 **FREQ MOD** – VCF カットオフ周波数 CV。

55 **RES** – VCF レゾナンス CV。

56 **OD IN** – オーバードライブ信号入力。

57 **VCA IN** – VCA 信号入力。

58 **VCA CV** – VCA CV。

59 **DELAY IN** – ディレイ信号入力。

60 **DELAY TIME** – ディレイタイム CV。

61 **E.GATE1** – エンベロープ 1 ゲート。

62 **E.GATE2** – エンベロープ 2 ゲート。

63 **S&H IN** – サンプルアンドホールド信号入力。

64 **S&H CLOCK** – サンプルアンドホールドクロック入力。

65 **LFO RATE –** LFO レート CV。

66 **LFO SHAPE –** LFO シェイプ CV。

67 **LFO TRIG –** LFO トリガー入力。

68 **MULT –** MULT 信号入力。92/93 参照。

69 **ATT1 IN** – アッテネーター 1 信号入力。

70 **ATT1 CV** – アッテネーター 1CV。

71 **ATT2 IN** – アッテネーター 2 信号入力。

72 **SLEW IN** – スルー信号入力。

73 **SUM1(A)** – SUM 1 第 1 信号入力。98 ページ参照。

74 **SUM1(B)** – SUM1 第 2 信号入力。98 ページ参照。

75 **SUM2(A)** - SUM 2 第 1 信号入力。99 ページ参照。

76 **SUM2(B)** - SUM 2 第 2 信号入力。99 ページ参照。

出力パッチベイ部

77 **OSC 1** – オシレーター 1 の出力。

78 **OSC 2** – オシレーター 2 の出力。

79 **79 OSC Mix** (OSCミックス) - OSC ½ ミックスの出力。

80 **VCF 1** – フィルターのメイン出力。

81 **VCF 2** – フィルターの別出力。

82 **OVERDRIVE** (オーバードライブ) - オーバードライブ出力信号。

83 **VCA** - ボルテージコントロールド アンプリファー出力信号。OUTPUT (出力) - メイン出

NEUTRON コントロール

ステップ 2: コントロール

(84) **OUTPUT (出力)** - メイン出力信号。ポストディレイ。

(85) **NOISE (ノイズ)** - ホワイトノイズ ジェネレーターの出力。

(86) **ENV1** – エンベロープ 1 出力。

(87) **ENV2** – エンベロープ 2 出力。

(88) **INVERT (反転)** – 「INVERT IN (反転入力)」に適用した信号の反転。48 ページ参照。

(89) **LFO** -「Bipolar (双極性) LFO」の出力 (-5 V ~ +5 V)。

(90) **LFO UNI** -「Unipolar (単極性) LFO」の出 (0V~ +5 V)。

(91) **S&H** – サンプルアンドホールド出力信号。

(92) **MULT 1** – MULT IN (MULT入力) に適用されている信号の複製。68 ページ参照。

(93) **MULT 2** – MULT IN (MULT 入力) に適用されている信号の複製。68 ページ参照。

(94) **MIDI GATE (MIDI ゲート)** – MIDI ゲート出力。

(95) **ATT1** – アッテネーター 1 の出力。

(96) **ATT2** – アッテネーター 2 の出力。

(97) **SLEW**- Slew (スルー) の出力。

(98) **SUM1** – SUM 1 (A+B) の総和。

(99) **SUM2** – SUM 2 (A+B) の総和。

(100) **ASSIGN (アサイン)** – アサイナブル出力。「ユーザーによる編集が可能なオプションおよび機能」参照。

背面パネル

(101) **INPUT (入力)** - 外部オーディオを VCF に付加。

(102) **OUTPUT (出力)** – ¼ インチジャックケーブルで、ミキサーまたはオーディオインターフェイスに接続します。

(103) **PHONES (ヘッドフォン)** - ヘッドフォン出力。

(104) **PHONES LEVEL (ヘッドフォンレベル)** – ヘッドフォンレベルコントロール。

(105) **MIDI CHANNEL SELECTION** (MIDI チャンネル選択)。

4 個の Dip 切替を動かして、MIDI チャンネルを選択します。

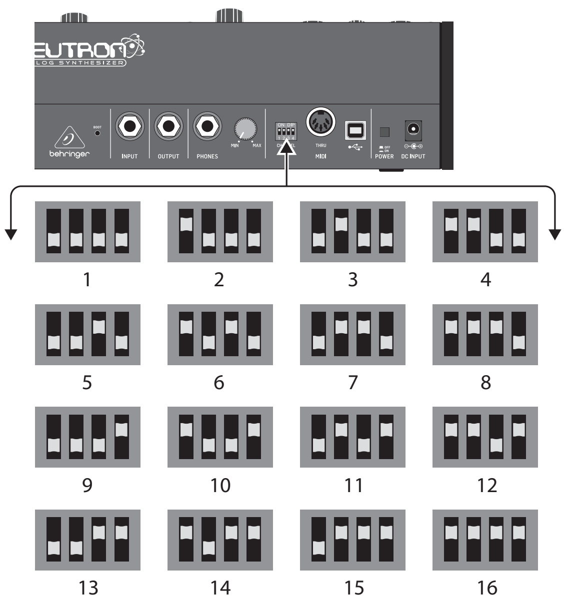
(106) **MIDI THRU (MIDI スルー)** – ソフト MIDI スルー。

(107) **USB ポート** - USB 経由で、MIDI 情報の送受信が可能。

(108) **POWER (電源スイッチ)** - シンセサイザーの電源をオン/オフします。

(109) **DC INPUT (電源入力)** - 必ず、付属のパワーサプライを接続します。

MIDI CHANNEL DIP SWITCH SETTINGS



NEUTRON はじめに

ステップ 3: はじめに

概要

この「スタートアップガイド」では、Neutron アナログシンセサイザーのセットアップ方法と、機能についての簡潔な解説を掲載しています。

接続

お使いのシステムの、Neutron の接続方法については、10 ページから記載されている接続例をご参照ください。

ソフトウェアセットアップ

NEUTRON は USB クラスコンプライアントの MIDI 機器ですので、ドライバーのインストールは不要です。

ハードウェアセットアップ

システムの接続をすべて済ませます。背面パネルの MIDI スイッチを使用し、システムにおける NEUTRON の固有 MIDI チャンネルを設定します。外部 MIDIキーボードを直接、NEUTRON の 5 ピン DIN 式 MIDI 入力、またはUSB MIDI入力に接続します。付属の電源アダプターを必ずご使用いただき、NEUTRON を電源に接続します。サウンドシステムの電源が入っていないことを確認してください。それから背面パネルの電源スイッチをオンにします。

オシレーター部

各オシレーターはチューンコントロールを装備えており、8/16/32 の各モードでは +/-1 オクタープの範囲で、レンジ LED がすべて点灯している時には 0.7 Hz ~ 50 kHz 超の範囲で調節可能です。

オシレーターミックス (OSC MIX) コントロールでは、2 つのオシレーターをブレンドし、より倍音豊かなサウンドを創造できます。

各オシレーターのシェイプ (SHAPE)コントロールを調節して、それぞれ異なる波形を選択します。

「P.WIDTH」は、最初の 2 つの波形、トーンモジュレーション (TONE MOD) および スクエア波に影響します。

オシレーターシンク(OSC SYNC) 有効時、オシレーター 1 は、MIDI ノートをトラックし、オシレーター 2 のピリオドをリセットするリファレンスを供給します。

パラフォニック (PARAPHONIC) スイッチを有効にすると、同時に複数の MIDI 信号をプレイした時、2 つのオシレーターはそれぞれ独立したピッチになります。ノートを 1 つだけプレイした場合は、両オシレーターは同じピッチとなります。

ノイズ (NOISE) コントロールは、フィルターにホワイトノイズを加えます。サウンドに異なるテクスチュアを付加したい時に使用します。ノイズ (Noise) はパーカッシブなサウンドや、面白いエフェクト効果の作成にも使用できます。

VCA バイアス (VCA Bias) は VCAの制御に使用します。 エンベロープをトリガーすることなく、VCA を「開く」ことができ (例: MIDI ノートなど)、オーディオを継続的に鳴らすことが可能です。

フィルター部

NEUTRON は 3 種類のモードを持つ 12 dB フィルターを備えています： ハイパスフィルター、バンドパスフィルター、そしてローパスフィルターで、レゾナンスコントロールが付いています。モードボタンを押すと、各フィルターモードが順番に切り替わります。

周波数 (FREQ) コントロールでフィルターのカットオフ周波数を設定します。 初期設定では、LFO はフィルターデプス (FILTER DEPTH) コントロール経由で配線されています。これにより、LFOでフィルター周波数を変化させることができます。

VCF には、パッチベイ (VCF 2) からアクセス可能な第2出力があります。VCF 2 のモードは、選択する VCF モードによって決定されます。

その関係性は以下の通りです:

Mode = , VCF2 =

Mode = , VCF2 =

Mode = , VCF2 =

これによって、フィルターモードを付加できます。例をあげると、フィルターモードが VCF1 と VCF 2 加算_になっている時、VCF1 と VCF2 を加算した出力を OD IN に配線することで、ノッチフィルターを作ることが可能です。

キートラック (KEY TRACK) は、VCF にキーボードトラッキングを適用します。直近に受信した MIDI ノートによってフィルターカットオフ周波数を決定します。ベースカットオフ周波数は、周波数 (FREQ) コントロールで設定され、演奏するノートによって、MIDI ノートがカットオフ周波数を増加します。さらに、レゾナンスコントロールを上げると、フィルターをオシレーターのようにプレイできます。

LFO 部

NEUTRON LFO の周波数範囲は 0.01Hz ~ 10kHz です。これにより、LFO を使用して低周波モジュレーションをオーディオレートモジュレーションにアップできます。

シェイプ (Shape) コントロールは LFO 波形のタイプを設定します。LFO 波形の選択時、コントロールは固定タイプか、波形のブレンドを選択するよう設定できます。

キーシンク (KEY SYNC) 有効時に MIDI ノートを受信すると、LFO はリトリガーされます。

DELAY SECTION (ディレイ) 部

NEUTRON は、印象的なアナログバケットブリゲードディレイを備えています。24ms ~ 640msまでのディレイタイムが設定できます。コーラスエフェクトは、LFO をディレイタイム (DELAY TIME) 入力に適用し、ショートディレイタイムを変調させて作成できます。

OVERDRIVE (オーバードライブ) 部

オーバードライブ部で、サウンドに微かな温かみから、激しいディストーションまで付加できます。ドライブコントロールを右に回すと、ディストーションの量を増加します。トーンコントロールでオーバードライブサウンドのシェイプを調節します。 ドライブ (DRIVE) レベルが増大したら、レベル (LEVEL) コントロールを利用することで、ドライブや音色に影響することなく、シンセサイザーの音量を下げることができます。

ENVELOPE SECTION (エンベロープ) 部

NEUTRON には 2 つの ADSR-Attack (アタック)、Decay (ディケイ)、Sustain (サステイン)、Release (リリース) エンベロープがあります。どちらのエンベロープも、E.GATE ½ 入力の使用時以外は、MIDI ノートの受信によってトリガーされます。

エンベロープ 1 (ENVELOPE 1) はデフォルトでは VCA CV にルーティングされています。この設定では、MIDI ノートが演奏されると信号がユニットをパススルーし、ノートが演奏されていない時は VCA が閉じます。

エンベロープ 2 (ENVELOPE 2) はデフォルトで、エンベロープデプス (ENV DEPTH)を経由し VCF にルーティングされています。MIDI ノート演奏時に、フィルタースウィープを作成するのに使用できます。

SAMPLE AND HOLD (サンプルア ンドホールド)

サンプルアンドホールド機能は、入力信号のサンプルを使用してランダムで段階的な波形を生成します。サンプルレートはレート (RATE) コントロールまたは SH CLOCK (SH クロック) 入力によって管理します。

グライド (GLIDE) コントロールは変化のレートを制限し、サンプル値をスムーズに変化させます。

ポルタメントおよびスルー

ポルタメントタイム (PORTA TIME) とは、2 つの MIDI ノート間の変化にかかる時間です。この機能により、サウンドに快く音楽的なスライドを付加できます。

スルー(SLEW) リミッターは、信号の変化のレートを制限するのに使用します。 例えば、外部シーケンサーから生成したピッチ CV にポルタメントを付加するのに使用できます。

ATTENUATORS アッテネーター

アッテネーター1 (ATTENUATOR 1) は追加の VCA で、Att1 CV コントロールまたはアッテネーター1 前面パネルコントロール (43) により、入力信号の大きさを低減するのに使用できます。

アッテネーター 2 の出力は、デフォルトでアッテネーター 1 入力にルーティングされています。アサイナブル出力はデフォルトで、アッテネーター 1 CV にルーティングされています。

アッテネーター 2 (ATTENUATOR 2- アッテネーター 2 コントロール (44) により、信号の大きさを低減します。

バイポーラー (BIPOLAR) LFO 出力は、デフォルトでアッテネーター 2 にルーティングされています。

アッテネーター 2 出力は、デフォルトで P.WIDTH 1 およびP.WIDTH 出力コントロールにもルーティングされています。

EURORACK (ユーロラック)

NEUTRON シンセサイザーは、工場出荷時のシャーシを外して、標準 Eurorack ケース (売) に設置することも可能です。マニュアルに記載の詳細をご参照ください。

NEUTRON ソフトウェアのアップデート

NEUTRON DFU (デバイスファームウェア アップグレード) アップデーターは、ウェブサイト musictri.be よりダウンロードいただけます。アップデートに付属のリリースノートに掲載されている手順にしたがってください。

ユーザーによる編集が可能なオプションおよび機能

アサイナブル出力

「ASSIGN」出力ジャックのソースは選択可能です。

ソースを変更するには、「OSC SYNC」ボタンを両方の「RANGE」ボタンが点滅するまで長押しします。点滅している LFO シェイプ LED が現在選択中のアサイナブル出力です - 選択肢は以下の通りです (サインシェイプから時計回り):

1. OSC 1 CV
2. OSC 2 CV
3. ノートオンベロシティ
4. モジュレーションホイール
5. アフタータッチ

2 つのレンジボタンを使用して、出力先を変更します。変更したら「OSC SYNC」ボタンを「RANGE」ボタンの点滅が停止するまで長押しします。現在選択しているアサイナブル出力値は、電源を切るまで保存および持続されます。

OSC & LFO SHAPE MODE BLEND / SWITCHED (OSC と LFO シェイプモードのブレンドおよび切り替え)

OSC と LFO シェイプはブレンドもしくは切り替えが可能です。非常に力強く個性的なサウンドクリエイションツールとなる機能です。

OSC1 の場合は「OSC1 RANGE」ボタンを長押しします (これによりチューニング機能に入ります) 。シェイプミキシングの無効時には「PARAPHONIC」ボタンが点灯し、シェイプミキシング有効時にはスロビングします。シェイプミックスの状態を調節するには、「PARAPHONIC」ボタンを押します。「OSC1 RANGE」ボタンを再度長押しすると、このモードを終了します。

同様に、OSC2 シェイプミキシングでは、「OSC2 RANGE」ボタンを長押しします; LFO シェイプミ

キシングの場合は

チューニング

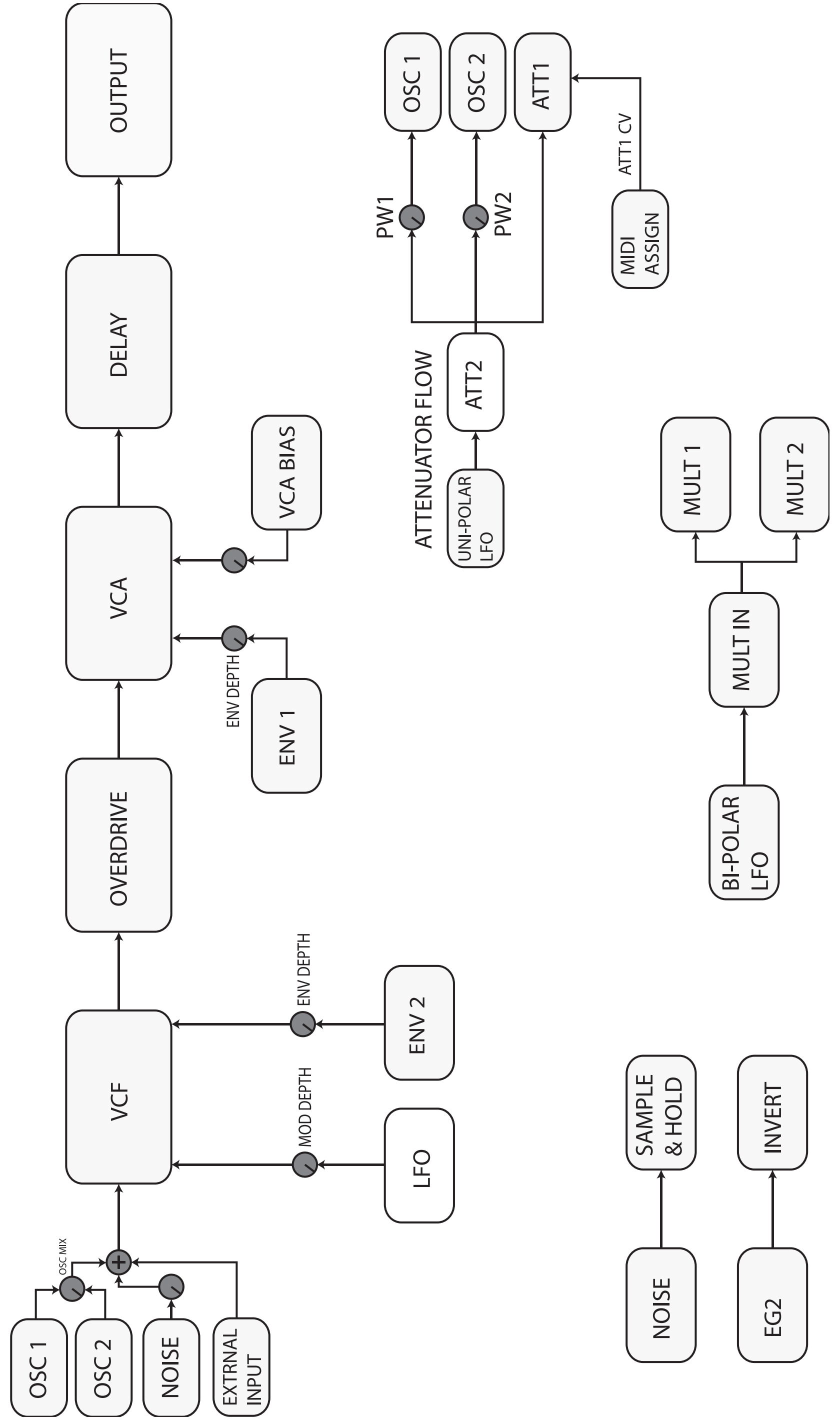
NEUTRON はスタートアップ時に自動でキャリブレーションをおこないます。追加の「チューン」機能により、ユーザーが手動で、直近に演奏した MIDI ノートにオシレーターをチューニングできます。

OSC1 または OSC2 をチューニングするには、適切な「RANGE」ボタンを LED が点滅するまで長押しします。MIDI ノートをプレイします。LFO シェイプ LED にチューニングが表示されます- 三角波 LED のみが点灯する状態になるまで、チューン (TUNE) コントロールを回します 。チューニングモードを終了するには、オクターブ LED の点滅が停止するまで、レンジ (RANGE) ボタンを長押しします。

+/-10 オクターブモード時(3 つのオクターブ LED が点灯) は、ノートチューニングは使用できません。

Advanced Features	Access	Action	Result	Exit
Change Assignable Output (ASSIGN)	Hold OSC SYNC	Use RANGE buttons to change Output function	LFO shape displays selected option.	Hold OSC SYNC
Envelope Retriggering	Hold OSC SYNC	the KEY TRK button toggles the retriggering mode	When the KEY TRK LED is on - retriggering is enabled	Hold OSC SYNC
OSC 1 Shape (Blend or Switched)	Hold OSC1 RANGE	PARAPHONIC will either throb or flash. Push to toggle mode	OSC 1 Shape mode will toggle. Blend or switch	Hold OSC 1 RANGE
OSC 2 Shape (Blend or Switched)	Hold OSC2 RANGE	PARAPHONIC will either throb or flash. Push to toggle mode	OSC 2 Shape mode will toggle. Blend or switch	Hold OSC 2 RANGE
LFO (Blend or Switched)	Hold LFO KEY SYNC	PARAPHONIC will either throb or flash. Push to toggle mode	LFO Shape mode will toggle. Blend or switch	Hold LFO KEY SYNC
OSC 1 Tuning	Hold RANGE 1	LFO shape LEDs shows tuning with respect to the last played MIDI note	Top center LFO Shape LED indicates that the oscillator is in tune	Hold RANGE 1
OSC 2 Tuning	Hold RANGE 2	LFO shape LEDs shows tuning with respect to the last played MIDI note	Top center LFO Shape LED indicates that the oscillator is in tune	Hold RANGE 2
Poly Chain mode	Hold PARAPHONIC	The LED will pulse slowly in mono mode - quickly in duo mode	Poly-Chain mode toggled on/off	Hold PARAPHONIC

Neutron normalised routing.



技術仕様

シンセサイザーアーキテクチャ	
オシレーターの数	2 x V3340
タイプ	アナログ
発振器	2（4 つの範囲で 0.7 Hz〜55 kHz）
LFO	1（0.01 Hz〜10 kHz）
VCF	1（切り替え可能なローパス、バンドパスまたはハイパス（12 dB / オクタープスロープ）、デュアル出力
封筒	2 つのアナログエンベロープジェネレーター
接続性	
外部入力	1/4" TRS、不平衡、100k Ω インピーダンス
出力	1/4" TRS、バランス、最大 12 dBu
ヘッドホン	1/4" TRS、バランス
ヘッドフォンの出力インピーダンス	8 Ω
MIDI イン/アウト（ソフトスルー）	5 ピン DIN / 16 チャネル
USB（MIDI）	USB 2.0、タイプ B
USB	
タイプ	クラス準拠の USB2.0、タイプ B
サポートされているオペレーティングシステム	Windows7 以降 / Mac OSX 10.6.8 以降
発振器セクション	
コントロール	チューーン（OSC 1 & 2）：+ 1 / -1 オクターブ（8'、16'、または 32'）または + 10 / -10（フルレンジ）
	OSCミックス：（OSC 1 と 2 の間の線形ブレンド制御）
	形状（OSC 1 & 2）：Tone Mod、Square、Sawtooth、Triangular または Sine
	パルス幅：0〜100%（OSC 1&2）
スイッチ	範囲（OSC 1 & 2）：8'、16'、または 32' またはフルレンジ（3 つの LED すべて）
	OSC 同期：オン/オフ
	パラフォニック：オン/オフ
導いた	オクターブ（OSC 1 & 2）8'、16'、32' または +/- 10（3 つの LED すべて）
	形状（OSC 1 & 2）：Tone Mod、Square、Sawtooth、Triangular または Sine
エンベロープ 1	
コントロール	攻撃：300 µs から 5 s（線形攻撃）
	減衰：2.4 ミリ秒から 10 秒（指数関数的減衰）
	サステイン：0 V〜9 V
	リリース：1.5 ミリ秒から 6 秒（指数関数的リリース）

封筒 2	
コントロール	攻撃：300 µs から 5 s（線形攻撃）
	減衰：2.4 ミリ秒から 10 秒（指数関数的減衰）
	サステイン：0 V～9 V
	リリース：1.5 ミリ秒から 6 秒（指数関数的リリース）
出力セクション	
コントロール	ボリューム：0～100%
導いた	MIDI：ゲート信号
サンプル＆ホールドセクション	
コントロール	レート：0.26 Hz～28 Hz（外部ソースからクロック可能）
	グライド：500 µs から 1 s
導いた	レート：0.26 Hz～28 Hz（外部ソースからクロック可能）
スルーレートリミッターセクション	
コントロール	スルーレート：1ms から 3s
	ポルタメント時間：0～10秒
アッテネーターセクション	
コントロール	減衰器 1：+4 dB～-∞
	減衰器 2：0 dB～-∞
フィルターセクション	
コントロール	カットオフ周波数：10 Hz～15 kHz
	共振：0～10（自励発振可能）
	変調深度：0～100%
	封筒の深さ：0～100%
	ノイズ：0～100%
	VCAバイアス：0～100%
スイッチ	フィルタモード、ハイパス、バンドパス、ローパス
	キートラックのフィルター：オン/オフ
導いた	フィルタモード、ハイパス、バンドパス、ローパス
LFO セクション	
コントロール	形状：サイン、トライアングル、ノコギリ波、スクエア、ランプ
	レート：0～10（0.01Hz～10kHz）
スイッチ	キー同期：オン/オフ
導いた	レート/レベルインジケーター
	形状：サイン、トライアングル、ノコギリ波、スクエア、ランプ。
遅延セクション	
コントロール	時間：25 ミリ秒から 640 ミリ秒
	繰り返し：0～100%
	ミックス：0～100%

オーバードライブセクション	
コントロール	ドライブ：0から 11
	トーン：0～10
	レベル：0 dB～-∞
導いた	ドライブ量インジケーター
入力（TS 3.5 mm）	
OSC 1	制御電圧：1 オクターブあたり 1 V
OSC 2	制御電圧：1 オクターブあたり 1 V
OSC 1 & 2	制御電圧：1 オクターブあたり 1 V
反転	電圧を反転します
形状 1	制御電圧：-5 V～+5 V
形状 2	制御電圧：-5 V～+5 V
パルス幅 1	制御電圧：-5 V～+5 V
パルス幅 2	制御電圧：-5 V～+5 V
VCF IN	信号入力
FREQ MOD	制御電圧：-5 V～+5 V
共振	制御電圧：-5 V～+5 V
オーバードライブイン	信号入力
VCA IN	信号入力
VCA CV	制御電圧：-9 V～+9 V
遅延	信号入力
遅延時間	制御電圧：-5 V～+5 V
Eゲート 1	制御電圧：-5 V～+5 V（エンベロープトリガー @1.5 V）
Eゲート 2	制御電圧：-5 V～+5 V（エンベロープトリガー @1.5 V）
サンプル & ホールドイン	信号入力
サンプル & ホールドクロック	制御電圧：-5 V～+5 V（S & H トリガー @3 V）
LFO レート	制御電圧：-5 V～+5 V
LFO シェイプ	制御電圧：-5 V～+5 V
LFO トリガー	制御電圧：-5 V～+5 V（S & H トリガー @1.6 V）
MULT（複数）	入力信号は Mult 1 および Mult 2 出力で複製されます
ATT 1 IN	信号入力
ATT 1 CV	制御電圧：-5 V～+5 V
ATT 2 IN	信号入力
スリューイン	信号または CV 入力
SUM 1（A）	信号入力または CV 入力
SUM 1（B）	信号入力または CV 入力
SUM 2（A）	信号入力または CV 入力
SUM 2（B）	信号入力または CV 入力

出力 (TS 3.5 mm)	
OSC 1	最大 +14 dBu
OSC 2	最大 +14 dBu
OSC ミックス	最大 +14 dBu
VCF 1	最大 +12 dBu
VCF 2	最大 +12 dBu
オーバードライブ	最大 +18 dBu
VCA	最大 +18 dBu
出力	最大 +15 dBu
ノイズ	最大 +18 dBu
ENV 1	制御電圧：0 V～＋9 V
ENV 2	制御電圧：0 V～＋9 V
反転	最大 +/- 9.5V の信号を反転します
LFO	制御電圧：-5 V～＋5 V
LFO UNI	制御電圧：0 V～＋5 V
サンプル & ホールド	最大 9.5V まで入力電圧を追跡します
MULT 1	最大 9.5V まで入力電圧を追跡します
MULT 2	最大 9.5V まで入力電圧を追跡します
MIDI ゲート	制御電圧：0 V～＋3.3 V
ATT 1	制御電圧 -9.5V～＋9.5 V (入力信号による)
ATT 2	入力信号に依存する最大出力電圧
SLEW	制御電圧 -9.5V～＋9.5 V (入力信号に依存)
SUM 1	制御電圧 -9.5V～＋9.5 V (入力信号に依存)
SUM 2	制御電圧 -9.5V～＋9.5 V (入力信号に依存)
割当	制御電圧：0 V～＋5 V
電力要件	
外部電源アダプター	12 V DC、1000 mA (12 W)
消費電力	7.5～9W 標準
環境	
動作温度範囲	5 °C to 45 °C (41 °F to 113 °F)
物理的	
寸法 (H x W x D)	94 x 424 x 136 mm (3.7 x 16.7 x 5.4")
重量	2.0 kg (4.4 lbs)
積み込み重量	3.0 kg (6.6 lbs)
ユーロラック HP	80 HP

その他の重要な情報

JP

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択: ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにないときは、musictribe.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お 客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You

behringer